

箕輪工業高校学園ニュース (うえのばやしだより)

12月

生活体験発表大会 押野悟司くん(機械科4年) 労働省職業能力開発局長賞 受賞!!

本校定時制機械科四年生の押野悟司君が、11月24日、東京都新宿高校で行われた第55回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会に長野県代表として参加し、厚生労働省職業能力開発局長賞を見事受賞しました。

押野君の発表は「努力と結果」という題名で、箕工定時制で自身が送った高校生活をふり返ったもの。中学時代は不登校だったが、箕工定時制に進学し、仲間と箕輪太鼓の練習を重ねて文化祭で発表したことや、アルバイトをしたり生徒会の役員を経験したりする中で、今の自分を肯定的に考えられるようになったとして、「不登校になったことも、そこから今の自分まで成長することができたのも、そのきっかけをつくったのも、すべては偶然ではなく、必然だと思っている。」と力強く将来への決意を語る内容です。

押野君を取材した地元紙の記者からは「押野くんを取材させていただき、自分自身の経験と向き合いながら前へ前へと進んでいく姿に、こちらも励まされ、うれしく感じました。」というお便りを頂くなど反響を呼んでいます。

定時制四年生7名のうち進学者1名のほか押野君を含め6名がほぼ地元を中心とする企業への正社員としての就職の内定をいただいています。それぞれが確かな夢を心に抱いて未来へ旅立とうとしています。



躍進の一年 弓道部

県大会出場

地区大会
個人優勝

去る11月23日に行われた上伊那弓道競技会において、林健太くん(2年)が12射11中という見事な成績で男子個人優勝を果たしました。

優勝は本校弓道部にとって8年振りの快挙です。他校のある先生が本校の顧問に、「一人では優勝はできない。クラブ全体が頑張っていないと優勝はできないものだ。」と声をかけて下さり、大変嬉しく思いました。

努力して高い技術を身につけた先輩、それに憧れて練習に励む後輩、熱心に教えて下さるコーチ、そっと見守り励まして下さるご家族の皆様、微力ながら弓道部を愛する顧問。その全てがひとつになったのだと思います。

15名の部員たちは更に強くなることを目指し、謙虚かつ闘志に溢れる心で練習に励んでいます。



賞状を手に笑顔の林くん
と弓道部の面々

囲碁部



新人戦県大会で
1~3位独占!!

- 優勝 倉田雅朗(1年)
- 準優勝 伊澤卓馬(2年)
- 3位 伊藤方哉(2年)

箕工囲碁部は高文連囲碁新人戦県大会においてCリーグ(級位者)の1位から3位を独占し、1月下旬に行われる北信越大会の切符を手に入れました。

最終戦は全勝決戦となり、今回は1年生に軍配が上がりました。現在、3名とも1月の大会に向けてさらなるレベルアップに燃えています。



沖縄の自然・歴史・文化を学ぶ 修学旅行

12月6日(木)から12月9日(日)の4日間、2学年は沖縄への修学旅行に行ってきました。

修学旅行の目的の一つに平和学習があります。旅行1日目、生徒たちはひめゆりの塔で、ひめゆり学徒隊だった方から当時の沖縄戦についてお話をうかがいました。その後、平和祈念公園で平和セレモニーを行いました。代表生徒が平和宣言文を読み上げ、クラス全員で作った千羽鶴を奉納しました。机上の勉強だけではわからない戦争の悲惨さを学び、全員が平和と生命の尊さへの思いを新たにしました。

平和セレモニー



ガイドさんからガマ(壕)についてお話を聞きました

マリンスポーツ体験



首里城見学



こんな授業やってます



生活教養

「世界の食文化を考える」

3年生の選択科目「生活教養」(学校設定科目)では、「世界の食文化を考える」と題して、4月から講師の先生方をお招きし、講演をお願いするなどして学習を重ねてきました。

学習のまとめとなる今月のテーマは「日本」。日本の食文化が色濃く表れるのは行事食です。というわけで今回はおせち料理とお正月のテーブルセッティングに挑戦しました。



だて巻き、ごまめ、昆布巻き、紅白なますなどの祝い肴やすまし仕立てのお雑煮も大成功の出来映えでした。昔ながらの食事をすることが少なくなってきた今、先人が伝えてきた伝統食を、これからも伝えていきたいですね。

ロボット部

国立科学博物館「大ロボット博」で発表

12月2日(日)、国立科学博物館で行われている「大ロボット博」に、ロボット部の生徒たちがロボットの展示発表を行いました。

これは、本校のロボット部が、日本工業大学主催のマイクロロボットコンテストで優勝したため、同大学の「大ロボット博」での発表に、参加を依頼されたものです。

ロボット部の生徒たちは大学生と共に発表し、マイクロロボットのデモンストレーションを行いました。調整の難しいマイクロロボットですが、無事に走行。数百名の観衆を前に堂々とした発表でした。



休日ということもあり、たくさん子どもたちが見に来てくれました

MSF(国境なき医師団)への募金継続中!

現3年生は、1年次の英語の授業で、MSFと、日本人初のMSF医師である貫戸朋子さんについて学びました。MSFは、1971年の開設以来、80以上の国々で5000人近い医師、看護婦、物資調達要員が活動している組織ですが、経費のほとんどを一般からの寄付に頼っています。箕工では、「1日50円キャンペーン」に参加し、1日50円×30日=1500円/月が、「箕工1年生」の名前で振り込まれています。

自販機でのおつりや財布の小銭を丁寧に届けてくれた総計は、既に34,500円(11月現在)。はしかのワクチンなら1300人分、栄養食なら2700食分に相当します。

先々月からは同じ教材を学んだ現1年生からの募金も加わり、他教科の先生の参加も。箕工の「クリキンディの一滴」はまだまだ続きそうです。

箕輪工業高校ホームページ

<http://www.nagano-c.ed.jp/minoko/>

箕輪工業高校の情報が満載。是非、一度ご覧下さい。

学校に対するご意見・ご要望は

minoko@nagano-c.ed.jpまたは 0265-79-2140(代表)

教頭鈴木までお願いいたします。

箕輪進修高校(仮称)ホームページ

<http://www.nagano-c.ed.jp/tabusei/>

20年度より始まる「多制単位制課程」についての詳細はこちらをご覧ください。